

寸言

兼松エアロスペース株式会社
代表取締役社長
平林 英樹



御客様への“お役立ち商社”として

兼松エアロスペース株式会社代表取締役社長の平林でございます。このたびは、伝統ある日本航空宇宙工業会会報「航空と宇宙」に寄稿する機会をいただき、誠に有難うございます。

弊社は、総合商社兼松株式会社の100%子会社として、昭和60年（1985年）に設立されました。兼松グループの航空・宇宙・防衛分野の専門商社として、主に航空機・艦船・車両・衛星・ロケット用の搭載機器・電子機器・通信機器・機構部品・素材・地上機材から、ヴァーチャルリアリティ・シミュレーション・ドローン・セキュリティー関連まで、幅広く海外製品を取り扱っています。最近では、航空宇宙分野で培った経験を生かして、自動車産業・プラント産業等への新たな製品群の提案にも力を入れています。

事業所は、東京本社及び中部営業部（愛知県名古屋市中区栄）の国内2拠点体制ですが、本年5月からは、東京本社事務所を兼松株式会社と同じ浜松町シーバンスビル（東京都

港区芝浦）に移転しました。これにより、これまで以上に兼松グループとのシナジー効果を最大限に発揮させることが可能となりました。グローバルなソーシング能力を活用して、最先端の海外製品・技術・情報を、積極的に御客様にご紹介していくと共に、長年日本で運用している海外装備品に関わる製造中止部品・枯渇部品等の問題でお困りになっている御客様に対しても、痒いところにも手が届く“お役立ち商社”として、必要とされる製品を提供してまいります。また、防衛装備移転三原則の策定等による国内外の情勢変化に伴い、これからは国内関連製品の海外輸出にも力を入れていきたいと考えております。

明治22年（1889年）に兼松株式会社を創業した兼松房治郎翁の創業理念、伝統的開拓者精神と積極的創意工夫を受け継ぎ、兼松グループの一員として、御客様のお役に立つ航空宇宙防衛専門商社として、社員一同日々精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。